

JIS X8341-3:2016		BIMを活用した省エネ建築設計・実装支援事業		https://eco-bim.tokyo/	
ガイドライン項目 /達成基準			LP	補足事項	
1知覚可能の原則					
1.1 代替テキストのガイドライン					
1.1.1	非テキストコンテンツの達成基準	画像に適切な説明がついている	○		
		画像リンクに適切な説明がついている	○		
		altで設定されたテキストに意味が十分に伝達できる内容が設定されている	○		
1.2 時間依存メディアのガイドライン					
1.2.1	音声だけ及び映像だけ(収録済み)の達成基準	該当なし			
1.2.2	キャプション(収録済み)の達成基準				
1.2.3	音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み)の達成基準				
1.2.4	キャプション(ライブ)の達成基準				
1.2.5	音声解説(収録済み)の達成基準				
1.3 適応可能のガイドライン					
1.3.1	情報及び関係性の達成基準	音声ブラウザでページ全体の文脈が理解できる表現が用いられている	○		
		各見出し(h1,h2...)はページ中の対応するセクションを表す内容になっており、テキストを太字にするためだけの目的に利用されていない	○		
		テーブルがレイアウトのためだけに利用されていない	○		
		表現を通じて伝達されている情報、構造、関係性は、プログラムが解釈可能であるか、テキストで提供されている	○		
1.3.2	意味のある順序の達成基準	線形化した読み上げ順序が表現によって伝えられている意味のある順序と合致する	○		
		コンテンツの提供順序がその意味に影響を及ぼす場合には、正確な読み上げ順序をプログラムが解釈可能である	○		
1.3.3	感覚的な特徴の達成基準	ページの内容を理解・操作するために必要な情報が、コンテンツの形や位置だけに依存していない	○		
1.4 判別可能のガイドライン					
1.4.1	色の使用の達成基準	配色に何らかの情報を持たせている場合、テキストや他の視覚的な表現からもその情報を取得できる	○		
		色の違いだけで示されているリンク又はコントロールは、その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上としている	○		
		情報を伝える画像の中で色を用いている場合、パターンやテキストを用いて色以外の方法でも情報を入手可能としている	○		
1.4.2	音声の制御の達成基準	該当なし			
1.4.3	コントラスト(最低限レベル)の達成基準	文字色と背景色とのコントラスト比を4.5:1以上とする。	○		
		テキスト及び画像化された文字の視覚的な表現には、十分なコントラスト比をもたせている	○		
1.4.4	テキストのサイズ変更の達成基準	キャプション及び画像化された文字を除き、コンテンツ又は機能を損なうことなく、テキストを支援技術なしで 200% までサイズ変更できること	※	コンテンツ側にテキストサイズ変更の機能はないが、十分なテキストサイズで表記している。	
1.4.5	文字画像の達成基準	画像化された文字ではなくテキストを用いて情報を伝えている	○		
2操作可能の原則					
2.1 キーボード操作可能のガイドライン					
2.1.1	キーボードの達成基準	キーボードのみで目的としている操作が達成できる	○		
2.1.2	キーボードトラップなしの達成基準	ユーザーがコンテンツ内に閉じ込められない	○		
2.2 十分な時間のガイドライン					
2.2.1	タイミング調整可能の達成基準	該当なし			
2.2.2	一時停止、停止及び非表示の達成基準				
2.3 発作の防止のガイドライン					
2.3.1	3回のせん(閃)光、又はしきい(閾)値以下の達	該当なし			
2.4 ナビゲーション可能のガイドライン					
2.4.1	ブロックスキップの達成基準		○		
2.4.2	ページタイトルの達成基準	ページのタイトルがページの内容を表しており、そのタイトルによってウェブページを特定できる	○		
2.4.3	フォーカス順序の達成基準	ナビゲーションの順序が意味又は操作に影響を及ぼす場合、フォーカス可能なコンポーネントは意味及び操作性を保持した順序でフォーカスを受け取る	○		
2.4.4	リンクの目的(コンテキスト内)の達成基準	異なる複数のURLへのリンクに、同一のテキストを用いないこと。	○		
		リンクの目的が、リンクのテキスト、もしくはプログラムが解釈可能なリンクの文脈をリンクのテキストとあわせたものから解釈できる	○		
2.4.5	複数の手段の達成基準	ウェブページに到達することのできる複数の手段がある	○		
2.4.6	見出し及びラベルの達成基準	目的や内容が分かるラベルを提供している	○		
2.4.7	フォーカスの可視化の達成基準	キーボード操作が可能なユーザインタフェースには、キーボード・フォーカスの状態が視覚的に認識できる操作モードがある	該当なし		
3理解可能の原則					
3.1 読みやすさのガイドライン					
3.1.1	ページの言語の達成基準	(lang=ja)がそのウェブページで主に使われている言語を反映している	○		
3.1.2	一部分の言語の達成基準	コンテンツの一節又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるかを、プログラムが解釈可能	○		
3.2 予測可能のガイドライン					
3.2.1	フォーカス時の達成基準	いずれのコンポーネントも、フォーカスを受け取ったときに 状況の変化を引き起こさない	○		
3.2.2	入力時の達成基準	該当なし			
3.2.3	一貫したナビゲーションの達成基準	サイト内で統一したナビゲーションを提供している	○		
		複数のウェブページ上で繰り返されているナビゲーションのメカニズムが、繰り返されるたびに 相対的に同じ順序で提供されている	○		
3.2.4	一貫した識別性の達成基準	情報提示のスタイルが統一されている	○		
		同じ機能性を有するコンポーネントは、一貫して識別できる	○		
3.3 入力支援のガイドライン					
3.3.1	エラーの特定の達成基準	クライアントサイドのバリデーション及びアラートを提供している	該当なし		

		利用者が認められた値以外の情報を提供した際に、テキストの説明文を提供している	該当なし	
		利用者の入力が必要とされたフォーマット又は値ではなかった際に、テキストの説明文を提供している	該当なし	
3.3.2	ラベル又は説明の達成基準	フォーム・コントロールに対するlabel要素が正しく配置されている	該当なし	
		必要とされる入力フォーマット(全角・半角、ハイフンの利用)を説明するテキストが、フォームまたはテキスト・フィールドー式の前に記載されている	該当なし	
		所定のデータ書式及び入力例を提供している	該当なし	
		状況の変化を引き起こすフォームのコントロールが変化する前に、何が起こるのかを説明していること	該当なし	
3.3.3	エラー修正の提案の達成基準	入力エラーが自動的に発見された場合は、その修正方法が明らかであれば、その方法を利用者に提示している	該当なし	
3.3.4	エラー回避(法的、金融及びデータ)の達成基準	ユーザが操作を誤った場合でも、元の状態に戻すことが出来る手段が提供されている	該当なし	
		利用者にとって法的な義務もしくは金銭的な取引が生じる、利用者が自分で制御可能なデータ・ストレージ・システム上のデータを変更もしくは削除する、又は利用者が試験の解答を送信するウェブページでは、取消、チェック、確認のいずれかを実施できること	該当なし	
4堅ろう(牢)(Robust)の原則				
4.1 互換性のガイドライン				
4.1.1	構文解析の達成基準	完全に仕様に準じているHTMLを用いる	○	
		ウェブページに含まれる、XMLベースのマークアップ言語(XHTML, SVG, SMILなど)で記述されたすべてのコンテンツに対して正しいXML文書であること	○	
		開始タグ及び終了タグが仕様に準じて用いられており、IDの重複や、同一属性が複数回指定されたタグが存在しない	○	
4.1.2	名前(name)、役割(role)及び値(value)の達成基準	プロパティ属性がユーザーインターフェースコンポーネントの状態を適切に示している	○	
		ウェブコンテンツ技術のアクセシビリティAPIを用いて、名前及び役割をUAに提供し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知している	該当なし	
		識別名及び役割を取得し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知するためにユーザーエージェントが動作する、プラットフォームのアクセシビリティAPI機能をサポートするウェブコンテンツ技術を用いて、コンポーネントを作成している	該当なし	